

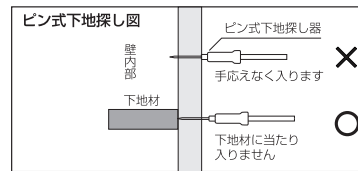
この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

正しくご使用いただくために必ずこの取付・取扱説明書をよくお読みください。

お読みになられた後も、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

取付可能場所

- 壁紙・布壁紙・ビニル壁紙貼りなどの石膏ボード壁、プリント合板などの壁紙・柱。但し、壁には必ず補強下地が必要です。
- 壁材が石膏ボードや薄い合板などの場合、強度がないので、市販の下地探し器（右図）などで下地があるか確認してください。
参考：壁の裏面にある間柱は、ほとんどの場合400～500mm間隔で取り付けられています。

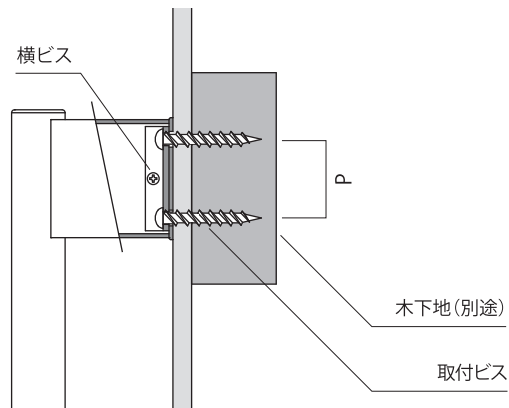


工具の準備

以下の工具をご用意ください。（製品には付属しておりません）

- +ドライバー
- ドリル（下穴を明けるための道具）

取り付け例



※取り付けの下地に合わせ必要に応じて下穴を明け固定してください。

取り付け後は強固に固定しているか必ず確認してください。

安全上の注意

警告 誤った取り扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの。

注意 誤った取り扱いをしたときに使用者が傷害を負ったり物的損害の可能性のあるもの

警告

- 改造はしないでください。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしないでください。（火災・感電・けがの原因）
- 幼児や子供だけで使用させないでください。（けがの原因）

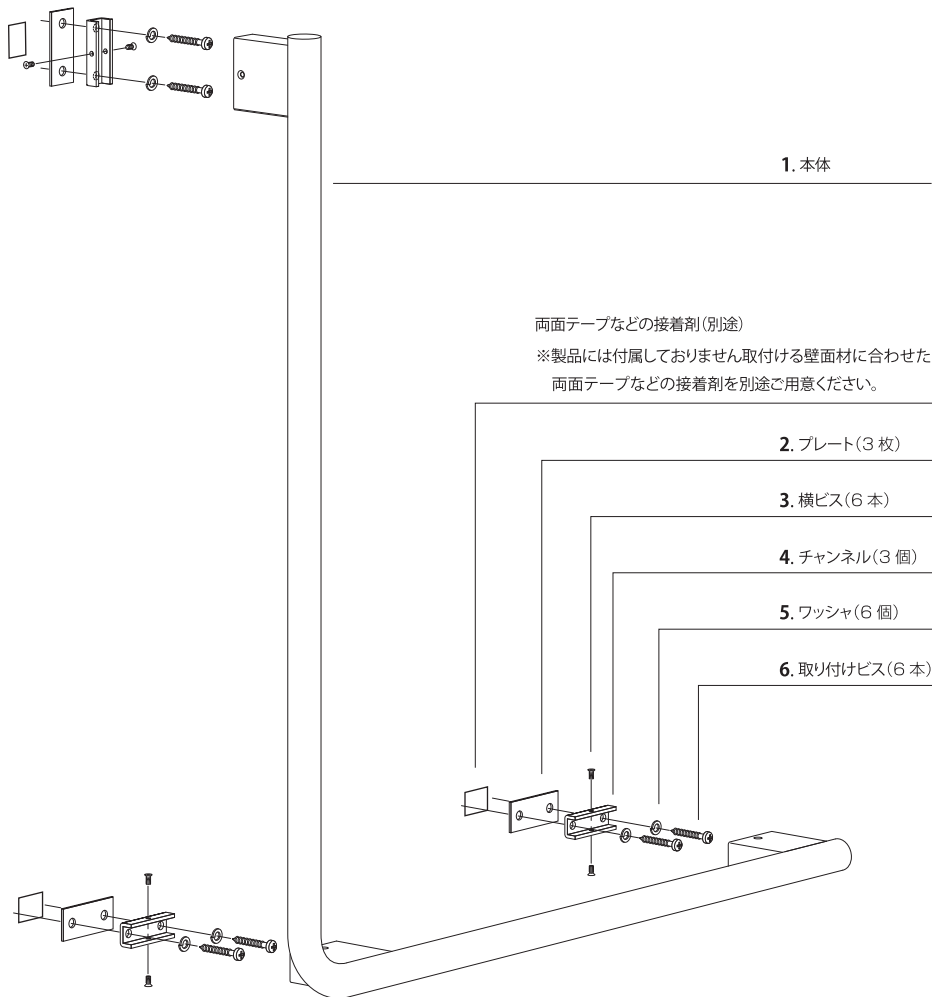
注意

- 貴重品や壊れやすいものは掛けしないでください。（破損・けがの原因）
- 本品に寄りかかったり、乗ったり、ぶら下がったりしないでください。（脱落・けがの原因）
- 必ず強度のある下地がある箇所に取付を行ってください。
また、取付後しっかりと固定されているかを確認してください。（脱落、けがの原因）
- ビスのゆるみはガタツキや手を傷つけたり、思わぬ不具合の発生の原因となります。確実に固定してください。
- 定期的に点検し、ゆるみを感じられたときは各部のネジを調整し、適切な作動でご使用ください。（破損の原因）
- アルコールやシンナーなどの有機溶剤や酸性、アルカリ性の洗剤、クレンザーなどの使用はさけてください。（変色・材質劣化の原因）
- 金属たわしやナイロンたわしなどは使わないでください。（傷の原因）
- 定期的に点検し、本体の固定が緩くなった場合にはビスを締めなおしてください。（脱落の原因）
- 製品特性上、一部突起や鋭利な部分があります。小さな子供などが手を触れたりしないように気を付けてください。（けがの原因）

お手入れ方法

- ほこりが積もると錆などが発生しやすくなりますので時々はたきをかけたり、柔らかい布等で拭いて、汚れが残らないようにしてください。
- 水などで濡れた状態でそのまま放置せず、必ず柔らかい布等でよく拭き取ってください。
- 汚れが取れにくい場合は薄めた中性洗剤液で汚れを拭き取った後、洗剤が残らないように水拭きした上で乾拭きしてください。
酸性洗剤や塩素系洗剤はご使用にならないでください。

梱包内容・各部名称 ※梱包を開け、中身を必ず確認してください。**3**と**4**は本体にセットされています。



取付手順



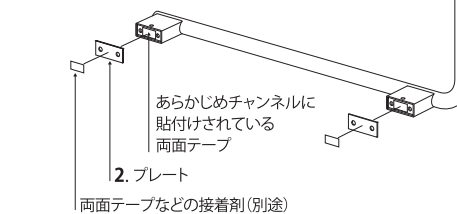
注意 ※必ず2人以上で取り付けを行ってください。

※3つのチャンネルで固定するので、取り付け位置の調整が難しい場合があります。下記の取り付け方法をお勧めします。

1 取り付け位置を決定する。

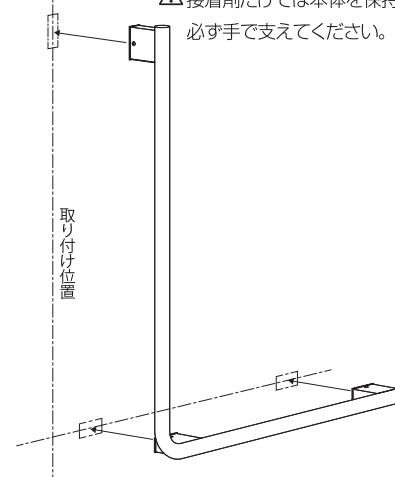
2 チャンネルに貼付されているの両面テープの剥離紙を剥がし付属のプレートを取り付け穴にあわせて貼り付ける。(3箇所)

3 貼り付けたプレートの裏面に別途用意した両面テープなどの接着剤を貼り付ける。(3箇所)

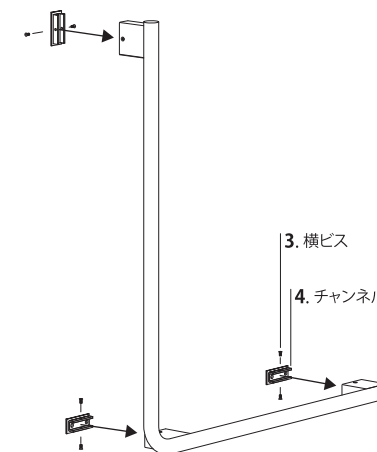


4 **1**で決定した取り付け位置に仮付けする。

⚠ 接着剤だけでは本体を保持できないため、必ず手で支えてください。



5 仮付けした状態で横ビスを全て外し、チャンネルを壁に残したまま本体を取り外します。
※本体を必ず手で支えながら作業してください。



6 仮付けのチャンネル3個を取り付けビスで壁に確実に取り付ける。

7 本体をチャンネルにセットし、横ビスにて確実に取り付けした後、しっかりと取り付いているか確認する。

